

## 平成28年度 事業計画書

### 一般財団法人 地球システム総合研究所

地球システム総合研究所は、昭和18年(1943年)2月18日に設立された京都大学関連の公益的財団で、平成16年6月7日に当時の文部科学大臣の認可を受けて当財団の名称を「財団法人地球システム総合研究所」に変更した。

上記のように長い伝統がある当研究所は、地球システム科学・技術に関する基礎的研究を行い、もって人類繁栄の基になる資源・エネルギー開発、建設、地下水利用、防災や環境保全等への活用をはかると共に、研究成果の普及と専門技術者の育成を通じて、地球の安定的有効利用と社会の持続的発展に寄与することを目的として、活動を継続してきた。

平成27年に公益目的支出計画が完了したことが内閣総理大臣により確認されたので、今後は内閣府の指導監督から離れて、公益的活動を行う一般財団法人として、従来どおり上記の目的の実現に向けて引き続き活動を継続、発展させる予定である。

当研究所は、特に、資源・エネルギー開発、社会基盤整備、地下水、防災、環境保全などの分野に重点をおき、公益事業としての「自主研究事業」や「研究会・講習会等の開催事業」を行うほか、様々な委託者からの研究課題の解決を図るための「委託研究事業」についても取り組み、研究・調査活動の成果の発表や広報、技術指導、講習等を長年にわたり積極的に実施し、多くの有益な成果を挙げ、我が国の科学技術の発展に寄与するとともに学術的にも多くの貢献を果たしてきた。

平成28年度の事業計画を以下に示す。

#### ■「自主研究事業」及び「研究会・講習会等の開催事業」

当研究所独自の課題について研究開発を行い、その成果を公表して科学技術の発展に寄与する自主研究に加え、研究開発と研究成果の実際への有効利用を速やかに推進するために、広報・普及および技術者・研究者育成のために、研究会、講演会、セミナー等を開催する研究会・講演会等開催事業を活発に行う。また、国際ワークショップや国際セミナー等の主催・共催及び運営なども行う。

#### ■「委託研究事業」

学会や産業界からの要請に応じて、関連科学技術に関する課題の研究開発及び技術開発並びに学術調査及び研究技術指導についても積極的に推進する。当研究所に設置されている各部門研究会の研究・調査活動を更に活発に推進させ、各部門研究会の活動を通じて我が国の関連科学技術の発展に寄与する。

公益法人制度改革関連三法で規定された一般財団法人としての運営を行うため、平成28年度は評議員・理事・監事の任期が満了することを踏まえ、評議員選定委員会を1回、定例理事会を2回、定例評議員会を1回開催するとともに、臨時理事会を1回開催して当研究所の適切な運営を行う。

また、ホームページ (<http://www.geosystem-research.com/>) を充実させ、当研究所の活動状況及び成果の周知及び普及に務める。

以上